

資料に親しむ会 令和4年度第2回

「大蔵経（一切経）に親しむ～仏教典籍の集大成～」

京都府立京都学・歴彩館職員が「大蔵経（一切経）に親しむ～仏教典籍の集大成～」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和4年5月10日（火）午後2時～3時

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 63名

■ 内 容 仏典が成立し、その集大成として、いくつもの大蔵経がまとめられていくまでの流れを簡単に説明した。当館所蔵の仏典を中心に取り上げ、写真も多く活用しながら、それぞれの大蔵経の特徴について解説した。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・大蔵経の知識がなくてもわかりやすい内容・説明だった。
- ・説明がないととても理解がおよばない大蔵経にかなり親しみがもてるようになった。
- ・仏教典籍の保全伝承について興味が深まる内容であった。仏教のみならず、歴史・文化の諸相が息づく史料であることがわかった。
- ・インド、中国、朝鮮、日本へとつながる仏教伝来の仕組み、歴史など分かった。
- ・お経について今までこのような経過があったとは知らなかった。資料もとても見やすくよかった。

（講座の様子）

